

男女共同参画スタディーズ 2019

～ 歩みを止めず、ジェンダー平等をめざして～

このままの遅い改善の速度 ならば、ジェンダーギャップの解消 には 108年かかるー??

世界経済フォーラム（WEF）が発表した各国の男女格差（ジェンダーギャップ）を示す男女平等ランキング 2018で、日本は 149 か国中 110 位*となりました。「教育」や「健康」の分野は高いが、女性首相が誕生したことがなく、大臣や国会議員の女性比率も低い日本は「政治参加」分野では、125 位。

私達の生活の中で、意思決定の場にマイノリティ（少数派）の声を届けるには、どうしたらいいのでしょうか。ジェンダーの視点で一緒に考えてみませんか。

【 いずれも 10～12 時 】

| | |
|----------------------|--|
| ① 6月8日(土) | 「ジェンダーと子どもの人権とは」 田上 時子 さん NPO法人女性と子どものエンパワメント関西 理事長 |
| ② 6月22日(土) | 「自分らしく生きる」～LGBTってなんだろう?～ 藤原 直 さん LGBT ライフビジョンコーチ |
| ③ 7月6日(土) | 「政治を身近に」～『女性を議会へ!』の活動から～ 森屋 裕子 さん NPO フィフティ・ネット 代表 |
| ④ 7月20日(土) | 「ジェンダーと教育」～これからの男女共同参画に必要なこと～ 木村 涼子 さん 大阪大学大学院 人間科学研究科 教授 |

◆ 日 時 : 6月8日、22日、7月6日、20日(土曜日)、各 10～12 時 [4 回講座]

◇ 対 象 : テーマに関心のある方 40 人 <先着順>

◆ 保 育 : 10 人 (1歳～就学前まで) 無 料 要予約

◇ 申込み : 電話 または 窓口、センターHP で 受付

宝塚市立男女共同参画センター (0797-86-4006) へ

参加費
無料

★ ★ ☆ ★ 6月23日～29日は「男女共同参画週間」です ★ ☆ ★ ★

主 催 宝塚市立男女共同参画センター・エル

宝塚市指定管理者

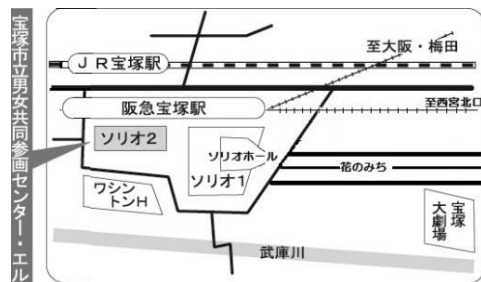
NPO 法人 女性と子どものエンパワメント関西

宝塚市栄町 2-1-2 「ソリオ2」 4 階

電話 : 0797-86-4006 FAX : 0797-83-2424

<https://www.takarazuka-ell.jp/>

(駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください)



男女共同参画スタディーズ 2019 ☆ 講師紹介 ☆

①

たがみ ときこ
田上 時子 さん

NPO 法人女性と子どものエンパワメント関西 理事長

早稲田大学卒業後、カナダに留学。1988年9月に帰国後、CRやCAP活動など、女性と子どものエンパワメントに尽力する。2010年文部科学大臣より「社会教育功労者」として表彰される。2011年、国際ソロプチミストより「ルビー賞1位」を授与。著書に「わたしのからだよ」、共著に「暴力防止の4つの力」など多数の著書、翻訳書が多数ある。



②

ふじわら なお
藤原 直 さん LGBT ライフビジョンコーチ

1978年生まれ。女性として生まれて、男性として生きるFTMトランスジェンダー。保育士として保育園に勤務の後、ニュージーランドのホテルで4年マネジメントを経験。帰国後は、国土交通省近畿地方整備局、情報通信技術課に非常勤勤務しながら性別を移行。男性営業として保険代理店に転職し、性同一性障害の保険加入に尽力。当事者が加入できる保険を5倍に増やし、日経ビジネスLGBT特集に掲載。2017年、世界21か国のLGBT事情を視察・WEBでの発信を行い注目を集める。



③

もりや ゆうこ
森屋 裕子 さん

NPO フィフティ・ネット 代表

1992年より政策コンサルタント事務所である「スペースフィフティ」を主宰。1996年よりNPOフィフティ・ネットで、「女性を議会へ！バックアップスクール」を開催。以来、女性の政治参画を進める活動を続けている。2009年4月～2015年3月まで尼崎市女性センター・トレピエ所長を務め、市民や様々な団体、グループ、企業、行政と連携しながらの事業展開に取り組む。



④

きむら りょうこ
木村 涼子 さん

大阪大学大学院人間科学研究科 教授

専門は教育社会学、ジェンダーと教育研究、近代日本のジェンダーに関する歴史社会学。著書に『ジェンダー・フリー・トラブリング現象を検証する』（白澤社）、『<主婦>の誕生—婦人雑誌と女性たちの近代』（吉川弘文館）、『家庭教育は誰のもの？家庭教育支援法はなぜ問題か』（岩波ブックレット）等がある。



『ジェンダーギャップ指数』とは??

世界各国の男女平等の度合いを指数化した世界経済フォーラム(WEF)発表の「ジェンダー・ギャップ指数2018」で、日本は149か国中110位となった。経済参画・教育・政治参画・健康の4つの分野14項目のデータから、男女格差の少なさを指数化し、その平均で総合順位が決められている。

- | | |
|-----|----------|
| 1位 | アイスランド |
| 2位 | ノルウェー |
| 3位 | スウェーデン |
| 4位 | フィンランド |
| 5位 | ニカラグア |
| 6位 | ルワンダ |
| 7位 | ニュージーランド |
| 8位 | フィリピン |
| 9位 | アイルランド |
| 10位 | ナミビア |

★ 110位 日本 ★